

前回までの管理計画検討会で出席者から出された課題等の 主なご意見

1. 全般的なことに関すること

- ・本国立公園の特色を生かし、魅力向上のため情報発信の方法の検討が必要。
- ・保護と利用の重さの置き方、バランスが大切であり、関係行政機関等の協力が必要。
- ・エゾジカが道内で増加傾向にあり、その取り扱いの検討が必要。
- ・多様な主体による公園管理については、観光客、訪問者への教育・啓発が非常に重要。環境保全活用型観光とでもいうべきものを推し進めるべき。
- ・インタープリテーションは来訪者の認識改善に大きく寄与し、エコツーリズムを根付かせる上で非常に重要。

2. 特定の管理計画区に関すること。

(1)支笏湖地区

- ・動力船の規制により、支笏湖の静かな佇まい、静けさが戻った。
- ・利用の充実を図るため、管理主体が曖昧な場所の管理者の明確化をしてほしい。(美笛の滝、恵庭岳登山、苔の洞門など)
- ・苔の洞門については、関係行政機関により協議会があり、ガイド付き少人数の利用について、検討しているところ。
- ・支笏湖、樽前山、苔の洞門などエコツアーを観光に生かし、地域の魅力を多くの人に伝えたい。

(2)羊蹄山地区

- ・羊蹄山避難小屋の老朽化に伴い、建て替えをしてほしい。管理計画できちんと位置付けをしてほしい。